

2月
14

懸命にタスキをつなぐ 第30回田原本町民駅伝大会



① 号砲とともに一齐にスタート
② 大和川沿いを疾走 ③ 次の走者に
タスキをつなぐ ④ 全力を出し切っ
てゴール ⑤ 田原本町赤十字奉仕団
から備蓄用非常食が配られる

入賞チームの紹介



小学生男子の部

- ① 平野パイレーツ C
- ② 田原本スラッガーズ 6年生
- ③ TKB ペッパーズ (北小)

小学生女子の部

- ① 北小ガールズ
- ② KA5
- ③ 平野排球 girlsA

中学生男子の部

- ① 田原本中学校陸上競技部

中学生女子の部

- ① 田原本中陸上競技部 A
- ② 北中学校バスケットボール部 A
- ③ 田北バレーボール部 A

高校生男子の部

- ① 高養 A
- ② 高養 B

高校生女子の部

- ① 高養 A

一般男子の部

- ① 奈良中央信用金庫 A
- ② 磯城消防署 A
- ③ リハセン Ace

一般女子の部

- ① もしもしカメよカメさんよ
- ② リハセン Girls
- ③ ジョッカーズ

2月14日、「第30回田原本町民駅伝大会」が開催されました。コースは健民運動場を出発し、大和川沿いを巡る合計15キロ（小学生は13キロ）を参加した51チームの選手たちは8部門に分かれ、健脚を競い合いました。選手たちは号砲とともに一齐にスタート。沿道の声援に励まされなが

ら走り、懸命にタスキをつなぎました。そして、全チームが力走し、見事ゴールしました。走り終わった後、選手たちはお互いをねぎらう言葉を掛け合ったり、田原本町赤十字奉仕団が振る舞うやよい汁を食べたりして、疲れた体を休めていました。

1月
31

設立から20年の節目を祝う 磯城婦人防災クラブ記念講演会



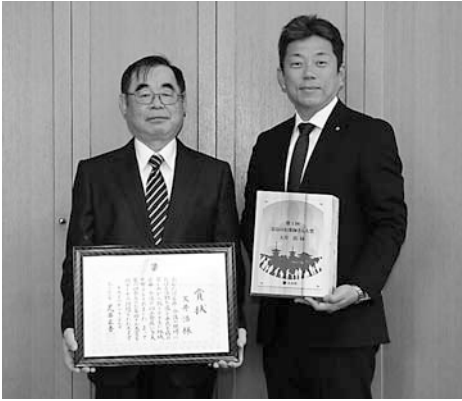
▲磯城婦人防災クラブ記念講演会の様子

1月31日、弥生の里ホールで「磯城婦人防災クラブ記念講演会」が開催され、約250人が参加しました。これは、設立から20年の節目を迎えることを記念して行われたものです。開会式では、磯城婦人防災クラブ会長の植村信子さんが主催者を代表しあいさつ、磯城郡町村会会長の志野孝光さんが祝辞を述べられました。参加者たちは、防災について正しい知識を学んでいました。

2月
12

地域医療への貢献を表彰

第1回奈良のお薬師さん大賞受賞を町長に報告



▲受賞した天井さん（写真左）と森町長

2月12日、「第1回奈良のお薬師さん大賞」を受賞した天井浩さん（あまい医院院長）が、森町長を表彰訪問しました。この賞は、地域の医療や介護の現場で尽力してきた薬師（医療・介護関係者）を「今年のお薬師さん」として奈良県が顕彰するものです。天井さんは「地域医療のために尽力していきたい」と町長に語っていました。

2月
5

全国児童作品展で文部科学大臣奨励賞 教育長に受賞の喜びを報告



◀受賞作品



▶受賞の新田さん（写真中央）とともに

2月5日、「第27回MOA美術館全国児童作品展」で文部科学大臣奨励賞を受賞した新田真琴さん（田原本小3年）が、片倉教育長を表彰訪問しました。この作品展は、絵画の部では全国から30万点を超える応募があり、その中からの6点に選ばれました。新田さんは「受賞できて嬉しかったです」と教育長に笑顔で話していました。

2月
13～

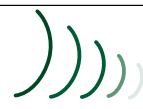
町新指定文化財の「綱掛」行事を展示

「綱にかける想い・田原本町大字矢部の「綱掛」展



▲「綱掛」のパネルを鑑賞する

2月13日から28日にかけて、図書館で『綱にかける想い・田原本町大字矢部の「綱掛」展』が開催されました。この展示は、矢部の「綱掛」が田原本町無形民俗文化財に指定されたことを記念して開催されたものです。訪れた人たちは、各戸に配布されるミニチュアの鋤と鍬、牛の版画、行事の様子がわかるパネルなどを鑑賞していました。



▲アイシングクッキーを作る子どもたちと、その姿を撮影する保護者

2月28日、カフェ&ギャラリー「凧」で、町域公共交通活性化協議会主催の田原本駅前活性化イベントが行われました。普段できない体験を通して、各店舗の魅力を知っていただくことを目的としています。今回は、子どもたちがOcashi!!!の高木さんにアイシングクッキーの作り方を教わり、保護者は、竹中写真館の竹中さんから写真の撮り方を学び、その様子を撮影していました。

2月
28

人がいきかうまちづくりを目指して 田原本駅前活性化イベント



▲田中さん（写真中央）の生け花とともに

2月18日、町長室で田中由紀子さん（MOA光輪花クラブ田原本花教室）に、森町長から感謝の気持ちが伝えられました。田中さんは秘書広報課窓口の花を月2回、約30年にわたり、ボランティアで生けられています。 「生け花で来庁される人の心を和ませることや、働いている職員の皆さんの癒やしになれば」と田中さんは話していました。

2月
18

生け花で人の心を和ませ、約30年 町長から感謝の気持ちが伝えられる



▲全力でタスキをつないだ選手たち

3月5日、馬見丘陵公園（河合町）で「第11回市町村対抗子ども駅伝大会」が開催されました。町の代表として出場した12人の選手と監督に森町長から激励の言葉がかけられました。駅伝には8人の選手が参加、昨年を上回る18位の成績を収めました。また、個人戦のタイムトライアルレースには4人が参加、ベストタイムを目指しコースを駆け抜けました。

3月
5

町代表選手が全力でコースを疾走 第11回市町村対抗子ども駅伝大会



▲親子でボールをつなぐ

2月20日、中央体育館で「平成27年度親子バレーボール大会」が行われ、11チームが参加しました。開会式では、森町長があいさつ、その後に片倉教育長の始球式で競技が始まりました。参加者たちは、親子でバレーボールを楽しむことで、絆を深めました。 白熱した試合の結果「田原本南スポーツ少年団」が優勝、「平野ビクトリーズA」が準優勝となりました。

2月
20

親子でふれあい、絆を深める 平成27年度親子バレーボール大会

3月
10

活動への協力に感謝を込めて たわらもとジュニアバンド成果発表会



▲1年間練習してきた仲間と成果を披露

3月10日、弥生の里ホールで「たわらもとジュニアバンド成果発表会」が学校関係者や保護者などを招いて行われました。

この発表会は、1年間の活動に協力していただいた人への感謝の気持ちを込めて催されたものです。

子どもたちは、今まで一生懸命に練習してきた成果を披露。息の合った演奏に、観客たちは引き込まれていました。

3月
11

給食をとおして防災意識を高める 「救給カレー」の給食献立を実施



▲カレーは甘くて食べやすかった(北小学校)

東日本大震災から5年目の3月11日、食物アレルギーを心配せずに食べられる学校給食用非常食「救給カレー」が、乾パンとともに各小学校の給食の献立に取り入れられました。北小学校では校内放送で「今日は非常食を食べながら災害について考えましょう」と説明があり、児童たちは「大きくなったらボランティアをやりたい」と災害について話合っていました。

3月
16

思い出の詰まった校舎を後に

町内各幼稚園、小・中学校で卒業式・卒業式



▲卒業生から答辞が読まれる(北中学校)

旅立ちの春。町内では、3月15日に幼稚園で129人、16日に中学校で289人、18日に小学校で296人が卒業式・卒業式を迎えました。

北中学校では、99人の卒業生一人ひとりが、校長先生から卒業証書を受け取りました。そして、仲間との別れを惜しみながら、これから始まる新しい世界に胸を膨らませ、思い出の詰まった校舎を巣立っていきます。

3月
18

中学校給食の実施に向けて

田原本町中学校給食検討委員会が答申書を提出



▲答申書を手渡す委員長の上地さん(写真左)

3月18日、田原本町中学校給食検討委員会から、全6回の会議を経て作成された答申書が教育長に提出されました。

答申書には中学校給食の現状と課題、導入方式の比較検討など中学校における給食導入の方向性についての結果が取りまとめられています。今後、教育委員会はこの答申書を踏まえ、中学校給食の実施に向けた基本方針を作成していきます。